

乳腺・内分泌外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	超音波 fusion 技術を利用した乳房 MRI における MRI-detected lesion の病理組織学的検討
研究機関名及び研究機関の長 (試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科) 外科学講座 (乳腺・内分泌外科) (職名) 教授 (氏名) 中野正吾
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>〔利用目的〕</p> <p>乳房 MRI を行うと、エコーでは指摘できなくても focus や mass、non-mass enhancement などの MRI-detected lesion といわれる病変が指摘されることがあります。focus とは 5mm 以下の結節、mass とは腫瘍性病変、non-mass enhancement は腫瘍ではないですが造影される領域のことです。これらの病変は良性であることもあれば悪性であることもあるため、精査が必要となります。</p> <p>これらの病変が乳癌であった場合には、治療方針を決めるためにサブタイプの評価が必要となり、エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体、HER2 (Human Epidermal growth Receptor 2、Ki-67) や癌の顔つきである組織学的悪性度などを調べています。</p> <p>近年、磁気位置追尾システムを用いてエコー画像とエコー走査面に一致した MRI 画像を同一モニター上でリアルタイムに対比することができるエコーfusion 技術[Real-time virtual sonography (RVS) / Volume navigation (Vnav)]が開発されました。我々は腹臥位 MRI に加え仰臥位 MRI を撮像して RVS を用いて超音波と MRI 画像情報を一致させる手法を考案しました。この技術を MRI-detected lesion の診断に応用しています。</p> <p>この研究の目的は、乳房 MRI で検出された focus、mass の検査結果を評価することです。</p> <p>〔対象となる患者さん〕</p> <p>2015 年 5 月から 2022 年 7 月までに乳癌と診断され乳房 MRI が施行され focus または mass が指摘され RVS を用いたエコー検査が施行された患者さん</p>

	<p>〔研究期間〕 研究実施承認日 ~ 2024年12月31日</p> <p>〔利用方法〕 電子カルテを用いてこれらの病変の良悪性の頻度やどのくらいエコーガイド下の生検が行われたかを調べます。</p> <p>〔他の機関へ提供される場合はその方法〕 なし</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	<p>情報： mass、focusの良悪性の頻度、悪性であった場合にはサブタイプの評価（エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体、HER2、Ki-67）、組織学的悪性度、また何%程度これらの病変にエコーガイド下生検がおこなわれたかなど</p>
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	非該当
提供する試料・情報の取得の方法	情報：非該当
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	非該当
利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年10月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	<p>愛知医科大学病院 乳腺・内分泌外科</p> <p>担当者：(職名)専修医 (氏名)西塔誠幸</p> <p>〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1</p> <p>電話 0561-62-3311 (内線 22140)</p>